

CASE 4

視力低下・難聴があっても軽度認知症が改善した例

91歳軽度認知症の女性は、左目の視力低下や難聴もあり、他者との交流も難しい状態でした。読書の趣味をお持ちでしたので、ブレインリハビリテーションを使用しても読書を開始しました。その後、ブレインリハビリテーションの他の課題にも興味を持たれ、計算や音読などを行いました。今では操作にもなれ、少し難しい問題にもチャレンジされています。



また当施設で使っているタブレット PC 版ブレインリハビリテーションにも興味を示され、リハビリ室だけでなく、場所にとらわれずに取り組んで頂いています。使い慣れるまで説明する事に時間はかかりますが、ブレインリハビリテーションで考え込まれながら行われるのは楽しい様子です。また MMSE の結果も向上されており、継続することで認知面の改善も図られました。

平成 28 年 12 月